

### 登米市の学校給食への地元野菜利用割合



質問

学校給食における県及び登米市の地元産野菜の利用品目割合に対する評価と今後の対応についてうかがいます。

【答弁】農政部長

### 学校給食

登米市では、利用品目割合が55%と県で掲げる目標数値を大きく上回っており、先導的な取組として高く評価しております。登米市の取組など県内の優良事例を給食関係者に広く紹介しながら、限られた給食費に対応できる価格で、安定的に県内産野菜等を供給できるよう、機械化一貫体系の導入などにより生産コストの低減を図ってまいります。



登米市の地元野菜利用率は高く、更なる安定供給を目指します

【答弁】教育長

県産食材の普及と食育を通じた食文化の継承につとめ、学校給食の充実を図ってまいります。

### 再生エネルギー関連の財源確保について



質問

農山村活性化のため、エネルギー関連支出を地域内に還流させるほか、次期総合計画にエネルギー関連支出の抑制施策を盛り込みも、目標値を掲げた上で必要な財源を確保すべきと考えますが、いかがですか。

【答弁】農政部長

### エネルギー関連支出

次期総合計画の策定に当たっては、この「再生可能エネルギー・省エネルギー計画」に掲げる施策や目標値を踏まえて検討を進めるとともに、取組に必要な財源の確保にも努めてまいります。



近年増えてきた再生エネルギー施設

暑さ厳しき折皆様には、お元気でご活躍のことと存じます。

令和の新年号になり、はじめての定例会「第368回」が、6月17日から開会されました。今議会は、天皇陛下の即位を祝う「賀詞」の発議を始め、「東日本大震災からの復興を完遂し、次なる巨大災害に対応した防災体制の強化」を求める意見書他1件、「宮城県県税条例等の一部を改正する」条例他14件の条例議案、「工事請負」等の条例外15ケ件、専決処分承認2ケ件、そして人事案2ケ件の同意があり7月3日閉会致しました。

今回一般質問の時間をいただき「農業・農村について」大綱1点とし当面の地域農業や生活に関する事等を県当局に質しました。主な議論は中面に掲載いたしましたので、ご参照頂ければありがたく存じます。

私は、「経済商工観光常任委員」に所属し、県内の経済状況の把握、地域の課題等及びその解決の提言に努めて参りました。また、今回「スポーツ振興調査特別委員会」では委員長として、生涯スポーツ、競技力向上のための施策をとりまとめ、この9月定例会で提言を致す予定であります。

今後とも皆様のご指導をいただき、ご意見・ご提言・ご要望をお寄せ頂きたく存じます。

暑さが続きますのでご自愛をいただき、ご活躍をご祈念申し上げます。

宮城県議会議員 わたなべ 忠悦



### 活動アルバム【経済商工観光常任委員会視察】



白石高等技術専門学校視察



かわまちてらす閣上にて



蔵王レストハウスにて



産業技術総合センター



(株)ユーメディアにて 働き方改革

### 活動アルバム【スポーツ振興調査特別委員会】



楽天生命パーク宮城訪問(県内調査)



山口県議会訪問(県外調査)



広島県議会訪問(県外調査)



福岡県立スポーツ科学施設訪問(県外調査)



仙台大学訪問(県内調査)



広島県議会訪問、委員長として挨拶

お問い合わせ

宮城県議会議員 わたなべ忠悦事務所

所在地：〒987-0511 登米市迫町佐沼字大綱 534

TEL：0220-23-7757 FAX：23-7838

E-Mail：tkdmg013@ybb.ne.jp

ウェブサイト <http://watanabe-chuetsu.jp>

渡辺 忠悦 検索

近所にお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。どんな小さなことでもよろしいので話をお聞かせ下さい。



### 主な一般質問要旨 & 回答要旨

令和元年6月定例県議会 本会議

#### 経済連携協定と宮城への影響



質問

TPP11・日欧EPA発効後、牛肉や豚肉などの輸入が増加していますが、現時点での県内への影響とその対応についてうかがいます。

【答弁】農政部長

#### 畜産向上・強化

畜産物等の輸入動向や価格の動きを注視しながら、その影響を見極めることが必要と考えおり、引き続き畜産クラスター事業を活用した経営規模拡大による生産コスト削減や、県産畜産物の更なる品質向上による優位性の確保など、畜産経営の体質強化に取り組んでまいります。



オーストラリアの牧場

#### 輸入農産物に負けない強い園芸産地づくりについて



質問

輸入農産物に負けない強い園芸産地づくりと、ほ場の団地化や農法改良、機械化促進に加え、生産者から距離的に近い冷凍設備・カット工場などの整備が必要です。県の考えや支援、誘導策についてうかがいます。

【答弁】農政部長

#### 園芸環境整備

施設園芸では、高度な環境制御技術を取り入れた施設の導入、経営の安定化に向けた支援、土地利用型露地園芸では、実需者との契約栽培による、ばれいしょ、たまねぎ、キャベツなどの加工・業務用野菜への誘導による省力化・低コスト化を推進し、付加価値の向上に向け野菜のカット工場などの整備を支援しており、今後も、輸入に負けない競争力と魅力ある園芸産地づくりに取り組んでまいります。

#### 有機農業への支援について



質問

有機農業については、差別化・ブランド化など高付加化が見込める反面、販売先の確保や多大な労力を要するなどの課題もありますが、国の方向性と現状への県の認識及び今後の対応をうかがいます。

【答弁】農政部長

#### 有機農業推進

更なる有機農業の推進にあたり、消費者との交流など販路拡大が重要と考えており、県内でのオーガニックイベントの開催や、今後国が発足させるネットワークを活用しながら、生産者と消費者や実需者とのマッチングを支援してまいります。



販路拡大が重要

#### 輸出米に対する助成金について



質問

農家にとっても主食米の生産額とのギャップが小さく取組やすくなる、輸出米に対する助成金の今後の見通しはいかがですか。

【答弁】農政部長

#### 輸出米支援

農業者が不安を感じることなく輸出用米の取組を継続できるよう、予算の確保を引き続き国へ要望してまいります。

#### 新規就農者へのサポート体制について



質問

農業生産高の向上のため、若い世代の新規就農とそのサポートが大切と考えるが、近年の確保数と定着数、支援体制はどうか。

【答弁】農政部長

#### 新規就農者 1

平成24年度以降170人程度が新規就農しており、農業次世代人材投資資金を交付されていた就農者は、そのほとんどが定着しております。引き続き、新規就農者が自立的な経営者として営農を継続していけるよう、農業改良普及センター・市町村・JA・農業委員会・金融機関等を構成としたサポートチームにより、きめ細かい支援を行ってまいります。



営農者の確保と支援が重要

#### 新規就農者数について



質問

我が県の新規就農者数について、耕地面積・農業産出額等が同程度の他府県と比べて少ないのではないかと。

【答弁】農政部長

#### 新規就農者 2

耕地面積や農業産出額が同程度の他県と比較すると、その数は少ない状況にあります。今後、生産割合が低い園芸の生産拡大を図ることにより、米、畜産とバランスのとれた生産構造を目指しながら、より多くの新規就農者の確保に努めてまいります。

#### 県の種子条例について



質問

農業競争力強化支援法において、良質かつ低廉な種子の供給を実現するため、国の試験研究機関等から種苗の生産に関する知見の提供が行われるが、県の種子条例との関係についてうかがいます。

【答弁】農政部長

#### 種子条例案

現在検討中の種子条例案は、県が保有する知見について、適正な利用と適切な管理が行われるよう必要な措置を講ずることを規定することとしています。

